

絆深まる下檜沢 新春に希望をのせて 楽しみを見つけ共に笑い合う、幸多き一年の幕開け



下檜沢の鹿嶋神社

（じ）常陸大宮市下檜沢において、令和8年（2026年）の輝かしい新春を迎えました。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

近年、世の中はめまぐるしく変化していますが、変わらないのは（じ）の下檜沢の美しい自然と、（じ）に暮らす皆様の温かい心です。本年が皆様にとつて、心穏やかで、笑顔の絶えない「幸多き一年」となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



「お互いさま」で支え合い
無理せず楽しむ新年を

（じ）高齢化が進む（じ）の地域ですが、だから（じ）できる「大人の支え合い」があります。今年の目標もやはり、何をおいても「健康第一」です。

声をかけ合う（近所でお顔を見かけたら「おはよう」「寒いね」と声をかけ合うこと。体を動かす（無理のない範囲で畠に出たり、散歩をして足腰を使うこと。

（めじ）つぱい楽しむ（昨年のように、集まれる時は集まって大いに笑う）こと。

（じ）健康寿命を延ばすには、食事や睡眠に加えて、日々の行動習慣も重要だと言われています。一人で頑張りすぎず、周りを上手に頼りながら、この下檜沢での暮らしをめいっぱい楽しいものにしていきま

製作者：デザイナボ
osakada.net
小坂田秀之
発行時期：不定期

本年も変わらず、皆様の笑顔とともに
檜沢にて健やかな一年を過ごせますよう、
心よりお祈り申し上げます。